



ESL International, Inc

Newsletter

ニュースレター 2014年8月 Vol.14

Y.E.S.サンディエゴ本社
4026 Dove St. San Diego, CA 92103
TEL 619.501.7953 FAX 619.450.6963
Email: info@yesesinternational.com

アメリカ留学情報

特集【KAKEHASHI Project: サンディエゴ訪問記】

KAKEHASHI Projectとは？

KAKEHASHI Projectとは、日米間の交流を通し、日本に対する価値・関心を深めてもらうと共に、国際的な視野を持った次世代を担う人材の育成を目的とし、日本政府(外務省)によって企画された事業です。本事業では東日本大震災の被災地である福島、宮城、岩手の野球少年少女の中学生計69名が参加し、アメリカでの14日間に及ぶ様々なプログラムを遂行しました。

学生達は7月21日に日本を発ち、ニューヨーク、サンディエゴ、ロサンゼルスをそれぞれ訪れました。プログラムでは、現地学生との交流試合やMLB観戦、大学見学や企業訪問、ホームステイ体験などが現地コーディネーターにより提供されました。学生達は異文化への関心を深めると共に、それぞれの都市でプレゼンテーションを実施し、日本の伝統や文化の共有に励みました。

サンディエゴ旅程表 7月27日(日)～7月29日(火)



*弊社がサンディエゴでの旅程企画を担当しました。

初日 ・ サンディエゴ空港到着 →
ホストファミリーと合流

第2日目 ・ KYOCERA International, Inc.訪問 →
National University 見学

最終日 ・ オーシャンサイド市長表敬訪問 →
University of San Diego 見学 → MLBサンディエゴパドレス
本拠地・ペトコパークツアー → パドレス対セントルイス・
カージナルス戦を観戦 → ロサンゼルスへ移動

サンディエゴ空港到着(2014年7月27日 :サンディエゴ初日)

ニューヨークより、サンディエゴ国際空港に到着

ニューヨークにて、7月23日から26日までの日程を終え、各県で3つの便に分かれ、引率者を含む計80名が7月27日にサンディエゴ空港に到着しました。サンディエゴ国際空港到着後、今回のプロジェクトの統括責任者・谷沢健一氏と、弊社代表・山内より、サンディエゴ滞在中の注意事項等の伝達を受けた後、学生達はミラコスタカレッジ行きのバスへ乗り込みました。

ミラコスタカレッジにて、ホストファミリーと合流

サンディエゴ国際空港からバスで40分ほどのオーシャンサイド市に位置するミラコスタカレッジでは、ホストファミリーが学生の到着を心待ちにしていました。今回のプログラムでは、サンディエゴのみホームステイ体験が出来るということもあり、学生達は期待と緊張の中、ホストファミリーと合流しました。

サンディエゴ国際空港

成田空港から直行便あり。サンディエゴ空港は、ダウンタウンと隣接しており、また観光客に人気のシーワールドやサンディエゴ動物公園、レゴランドへのアクセスに便利です。



空港到着時に注意事項を伝達



ホストファミリーと初対面

京セラ(KYOCERA International, Inc.)訪問

サンディエゴ2日目は、朝8時半よりKYOCERA International, Inc.を訪問しました。京セラでは、①歓迎の挨拶、②ビデオでの京セラ会社説明、③特別講義・川村幾之介(マイク川村)氏、④アメリカ現地社長ジョン・リグビー氏よりご挨拶が約1時間掛けて行われました。

川村氏は京都セラミック(現・京セラ)がアメリカ進出する際に派遣された5名の技術者の中の一人であり、渡米後の出来事について多くを語って下さいました。5名の技術者は「5人のサムライ」と呼ばれ、社運を掛けたプロジェクトに大きな期待を持たれました。一時は赤字経営が続き稲盛会長からアメリカ事業を断念する思案が出ましたが、5人の熱望により存続されました。社内で仲違いしかけた時は、自分達の使命を思い出し力を合わせて乗り越えたそうです。そして、何度もの大きな苦難を乗り越え、遂に黒字経営に転じました。

川村氏によると、成功への秘訣は①人一倍努力すること、②沢山の人の助け、③運、です。この3つの要素は自力と他力による相互関係が強く働いたときに成功へ導くとのこと。この理論を例えると、ヨットの帆が自力、風が他力であれば、相互の力によって進む力が異なります。自力で大きな帆を抱え、他力で背中を後押ししてもらう。自力と他力の重要性に関して、とても明確な説明を頂きました。

また、川村氏は幼児期に被爆に遭い多くの親戚を失いながらも、その苦境を乗り越える気持ちを強く持つようにしたそうです。このような苦難をプラスに捉えることが出来る人、逆にマイナスに考えて落ち込んでしまう者もいると後の人生に大きな影響を与えるという教訓について話して頂きました。

ジョン・リグビー氏からは、ユーモア溢れる歓迎の挨拶、最後にKYOCERA帽子を学生達へプレゼントして頂きました。

京セラ(旧・京都セラミック)

1959年設立。1968年にカリフォルニア州に駐在員事務所を開設し、1969年にKYOCERA International, Inc.を設立。現在、35カ国に拠点をもちファインセラミック部品・応用品、半導体部品、電子デバイスなど様々な事業を展開し、京セラの経営理念である“全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること”で人々の生活を豊かにし続けている。



KYOCERA International, Inc.

ナショナル大学(National University) 見学・交流

京セラ訪問後、学生達は次の目的地である「National University」に向かいました。

National University では、大学院長による歓迎挨拶を含めた学校紹介が行われました。その後は元プロ野球選手の教授による講義や現地留学生との交流会、そしてキャンパスツアーなどが行われ、学生達はアメリカの大学に興味津々の様子でした。そして交流会の最後には、岩手組生徒によるプレゼンテーションが行われ、日本の文化や伝統芸能の紹介を行いました。

岩手組の学生によるプレゼンテーション

今回の旅程で県別でのプレゼンテーションが行われ、National Universityでは岩手県出身の23名の学生達が4つのグループに分かれ、英語によるプレゼンテーションを行いました。

プレゼンテーションでは、新渡戸稲造や宮沢賢治について紹介する「岩手県の偉人」や、毛越寺や中尊寺などの由緒正しい寺院がある平泉について紹介する「岩手県の世界遺産」、さらに岩手県の名の由来なども紹介する「さんさ踊り」、そして2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災に関する項目の計4つが発表されました。

東日本大震災について紹介されたプレゼンテーションでは、被災の様子も映像として流されました。

「僕たちはいつも通りの生活を送ることができる。食事も平等に与えられるし、色々なことを学ぶことだってできる。そして野球をできる環境にもある。この毎日の生活に感謝をしなければならない。そして一番は、この東日本大震災での出来事を決して忘れてはいけない。」

岩手の生徒たちの言葉は、参加者全員の心に強く響き渡りました。

National University

1971年設立。100以上の学士号と大学院のプログラムを提供しており全米屈指のオンラインプログラムを提供している。国内で20以上の校舎と25のオンライン授業サポートセンターを所有する。



大学院長による挨拶



岩手組のプレゼンテーション



サンディエゴ・スペクトルキャンパス

オーシャンサイド(Oceanside)市長表敬訪問・市庁舎見学

サンディエゴでの最終日、学生達はオーシャンサイド市庁舎を訪れ、オーシャンサイド市長の表敬訪問を行いました。

視聴者では、実際に市議会が行われる会場で市長のジム・ウッド氏や市職員らが出迎えてくださいました。表敬訪問では、市長から生徒達へ歓迎の言葉をいただき、谷沢健一氏および弊社代表・山内へ謝辞が送られました。また、市長直々にオーシャンサイド市の地理や姉妹都市についての紹介を行って頂き、議会で使用される壇上や議長席、傍聴席へ誘導して記念撮影を勧めるなど手厚い歓迎をしてくださりました。市長の温かい歓迎を受け、学生達はオーシャンサイド市をより身近に感じる事が出来たようです。

市長のご挨拶後、学生達は三つのグループに分かれ、市庁舎見学を行いました。市長直々に市長室への案内をして頂き、学生達は市庁舎の職員から歓迎を受けました。ジム・ウッド市長はオーシャンサイド市警に31年間勤め、署長も務めていたという経歴の持ち主で、市長室には警察バッジや帽子が飾られており、オーシャンサイド姉妹都市の贈呈品などで国際色豊かな一室となっていました。市長は、学生達に警察帽子とバッジを貸して記念撮影を楽しませるなど素晴らしい歓迎をして頂きました。

市長舎見学後、市庁舎前にて記念撮影を行い、ジム・ウッド市長及びオーシャンサイド市庁舎の皆様へ感謝の言葉を伝え、市庁舎を後にしました。



市長室にてウッド氏と一緒に記念撮影



オーシャンサイド市長舎

カリフォルニア州サンディエゴ郡オーシャンサイド市
人口約17万人。サンディエゴダウンタウンから車で約40分、ロサンゼルスまでは約1時間の場所に位置する。オーシャンサイド市は海岸に面しており、美しいハーバーやピアがあります。また、オーシャンサイド市は日本の静岡県富士市と千葉県木更津市と姉妹都市提携を結んでおり、表敬訪問などの交流も活発に行われています。



オーシャンサイド市の旗



谷沢氏と弊社代表

サンディエゴ大学 (University of San Diego) 見学

サンディエゴ大学はディビジョン1部に所属しており、その中でも1960年に創立された野球部はカリフォルニア州内でもトップクラスのレベルを誇ります。2014年度のMLBドラフトでは、野球部に所属する35名のうち7名がドラフトにかかりました。日本から訪れた学生達の為に、名門サンディエゴ大学野球部を15年間率いているリッチ・ヒル監督が学生達へチームプレーの大切さについて講演してくださりました。

強いチームの形成に必要な3箇条。①.自己中心的な考えをせずチームのことをまず第一に考えること、②.仲間のミスを励ましてあげること、③.どんな時も決してあきらめないこと。これらを実行できる選手が多いほど、チームの結束は高まり強くなります。反対に自分勝手なプレーをする選手、仲間のミスを責める選手、苦しい状況ですぐに弱音を吐く選手、このような選手がチームにいることで、チームの輪は乱れてしまいます。

特別講義中には、正常なコインと折れ曲がったコインを利用し、折れ曲がったコインをチームの輪を乱す者に見立ててチームプレーの説明をされました。正常なコインは積み重ねても崩れず、もし途中で折れ曲がったコインが入ると積み重なった塔が簡単に崩れていきます。チームの方向性を全員が理解し、一つの目標に向かって進んでいく、このようなチームが強くなります。

講義後、ヒル監督から学生達へ講義中に使用したコインをプレゼントしてくださいました。これから学生達が苦境に立ってくじけそうになった時にはそのコインを見て、今日の話思い出し、強く前に進んでほしいというヒル監督の願いが込められています。そして、10年後や20年後には学生達が強い心を持った大人に成長し活躍することを願っているとエールが送られました。

ヒル監督の素晴らしいストーリーに耳を傾けていた学生達は、日本でもアメリカでもチームプレーの大切さは同じ事であると認識できたのではないのでしょうか。また引率者達は、その素晴らしい講演に感心していました。

この日、サンディエゴ大学の野球場では、7歳から13歳の少年少女対象のサマーキャンプが開催されていました。ビル監督の講演後、野球部の施設を見学し、子ども達と球場内で記念撮影をしてサンディエゴ大学を後にしました。

University of San Diego (サンディエゴ大学)
1949年設立、私立大学。学生数:5,457人(2014年)。校舎のデザインは、16世紀のスペイン・ルネッサンス建築様式で綺麗なキャンパスである。大学のクラブチームは、ディビジョン1に所属する17のクラブチームがあり、スポーツ施設は充実している。大学には90以上の専攻があり、法科大学院は全米でも有数のプログラムとして知られている。



リッチ・ヒル監督



USD野球部 サマーキャンプ

ペトコパークツアーと試合観戦

サンディエゴ最後のアクティビティは、ペトコパークツアーと試合観戦でした。ペトコパークは、2006年に第1回ワールドベースボールクラシックの準決勝、決勝の試合会場として使用された場所です。学生達は興奮した様子で球場内を見学し、パドレスの選手達の試合前練習を食い入るように見ていました。

パドレスの打撃コーチには、元メジャーリーガーで日本プロ野球でも7年間プレーしていたアロンゾ・パウエル氏があります。ツアー途中でパウエル氏が学生達の下に来てくださり、楽しく談笑しました。

試合開始前には、電光掲示板に学生達の歓迎メッセージが表示され、学生や関係者たちの笑みがこぼれました。

サンディエゴ・パドレス(本拠地:ペトコパーク)

ナショナルリーグ西地区に所属し、今年はロサンゼルス・ドジャーズ、サンフランシスコ・ジャイアンに次いで3位。過去には、信濃グランセローズ監督・大塚晶則氏(2004-2005)、千葉ロッテマリーンズ・井口資仁氏(2008)が所属していた。本拠地のペトコパークは2004年に建設され、収容人数は42,445人である。サンディエゴ・ダウンタウン内にあり、サンディエゴ空港からのアクセスも良い。



元中日ドラゴンズ・パウエル氏



電光掲示板での学生達の歓迎がパドレスから送られる

Kakehashi Project・ホームステイ手配

今回のKakehashi Project・サンディエゴエリアでは、3日間の短期間でしたが、約40組のホストファミリーにはプロジェクトの主旨に理解と賛同を頂きました。日本では馴染みのないホームステイであり、他の見知らぬ家族と一緒に過ごすこと、更にアメリカ人ということで緊張と不安がありました。しかし、温かく迎えてくれたホストファミリーのおかげで楽しく過ごすことが出来たようです。各家庭でオーシャンサイドの名所や観光地を訪れるなど、楽しい時間を過ごし、学生との別れ際には涙するホストファミリーもいました。学生達はアメリカでの家庭生活体験を通し多くのことを学び良い経験となったと思います。



初めてのホームステイ体験

Y.E.Sホームステイサービス

弊社ではカリフォルニアサンディエゴ、パームデザート、マーセッド地域で200家庭以上のホストファミリーを管理しており、厳選したホストファミリーを紹介しています。ホームステイは、個人から団体まで状況に応じて随時受入れています。

オーシャンサイド市のコミュニティカレッジ：ミラコスタカレッジ(2年制大学)

キャンパスは美しいマウンテンビュー、車で約10分で海辺まで行くことが出来る。

多くの留学生在籍し、大学内に語学学校も併設されており、英語力に自信がない英語初心者でも安心。ミラコスタカレッジで人気がある専攻は会計学、心理学、4年制大学編入コースなどです。長年、留学生を受け入れており、現地スタッフも丁寧な対応をしてくれます。



広々としたキャンパス

次号ニュースレターVol.14のご案内 (10月中旬配布予定)

次号の特集は、「アメリカサッカー留学・世界共通語の英語を学びながら、世界に通用する選手を目指す」と「新スタッフのMikiが勤めるテニス留学」をお届けします。アメリカのサッカー、テニス留学について、現地情報と留学プランについて案内致します。

Y.E.S. ESL International, Inc.



アメリカ、カリフォルニア州サンディエゴに本社を置き、州立大学付属英語学校の運営や大学のホームステイサービスを手掛ける。独自の留学プログラムで多くの留学生をナビゲートする。



留学への第一歩。

アメリカ留学に関する相談はY.E.S.にお問い合わせください。